

第17回 Jichi Joy Café 開催結果報告



14:00 - 14:05	開会のことば	副センター長 石川先生
14:05 - 14:10	医師・研究者キャリア支援センターからのご案内	
14:10 - 14:35	講話 「働き方改革って誰のため？」 ～乳腺科でのとりくみ～	乳腺科 櫻木雅子先生
14:35 - 14:55	自己紹介・コメント・フリーディスカッション	
14:55 - 15:00	閉会のことば	センター長 小宮根先生

2023年度テーマ

働き方へ向けての職場づくり

2023年9月1日（金）に「第17回 Jichi Joy Café」を開催しました。今年度のテーマは、「働き方改革へ向けての職場づくり」です。

今回は、乳腺科の櫻木雅子先生に「働き方改革って誰のため？」と題して、乳腺科の取り組みについてお話し頂きました。世間の働き方がこれまでのメンバーシップ型雇用からジョブ型雇用へ移行していくなか、医療も同様に変化が求められているというお話は、とても分かりやすく、仕事の継続性を考えると必要なことだと感じました。

また、乳腺科が最近10年かけて働き方を見直してきており、業務のタスクシフト、日常業務の配置の工夫、地域連携の活用などの取り組みは、他の診療科の先生にも参考になる内容だったと思います。

現在、乳腺科は女性医師のみが所属しており、第二次ベビーブームに入ったとのことで、カンファレンス時間の調整やメッセージアプリでの連絡など、家庭をもつ女性が働きやすくなるように上手に調整されています。

今回の Jichi Joy Café では、医師、研究者、薬剤部、看護部、事務など多職種の方々に加え、初めての方の参加もあり、多くの方が乳腺科の働き方に興味がありご参加頂けたのではないかと思います。

これからも Jichi Joy Café では、働き方の多様性や協調について幅広く情報を提供していきたいと考えています。

開催内容

小形幸代先生の司会のもと、石川副センター長の開会のことばに続き、医師・研究者キャリア支援センターからのご案内、櫻木先生の講話、参加者による自己紹介とコメント、フリーディスカッションを行い、小宮根センター長の閉会のことばにより閉会いたしました。

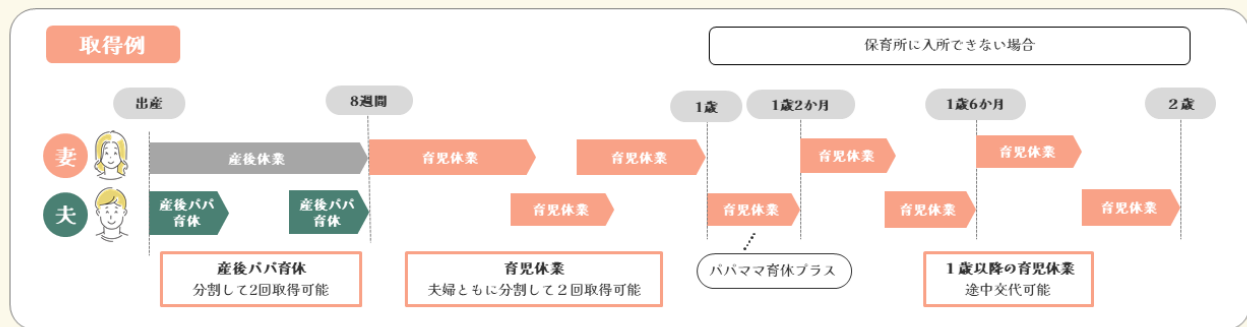
■医師・研究者キャリア支援センターからのご案内

2022年10月1日に施行された新制度

「産後パパ育休」（出生児育児休業）

POINT

- ・ **育児休業とは別に子の出生後8週間以内に4週間（28日）まで取得可能！**
- ・ **2回に分割しての取得も可能です（※分割取得は初めにまとめて申し出が必要）**
- ・ **休業中に就業することも可能（※就業可能日等には上限あり）**



育児支援

ベビーシッター割引券のご利用について

- **内閣府の企業主導型ベビーシッター利用者支援事業を活用する補助制度です。**
- **私学共済に加入する教職員であれば、非常勤、パート、臨時職員の方も利用できます。**
- **乳幼児から小学校3年生までの児童が対象です。**
- **家庭内での保育や世話、保育施設などへの送迎にベビーシッターサービスを利用する際、1人1回4,400円まで割引が受けられます。**

ご利用 ルール

ご利用にはいくつかのルールがあります。

- ・ 配偶者の就労、病気療養などによりサービスを利用しなければ、勤務が困難な方が対象
- ・ 初回申込は利用予定日の7日前までに要申請など

詳しくは、医師・研究者キャリア支援センターWebサイトをご覧ください。

■講話「働き方改革って誰のため？」～乳腺科でのとりくみ～（乳腺科 櫻木 雅子先生）

乳腺科の櫻木 雅子先生による講話では、国が提唱する「働き方改革」の背景と目的や、改革を率先的に導入している乳腺科では、実際どのように取り組まれているのかなど、過去を振り返りながら、現在の状況と今後の課題についてお話いただきました。

働き方改革って誰のため？ 乳腺科のとりくみ

自治医科大学消化器一般移植外科
櫻木雅子

本日の内容

- 働き方改革って？
- 当科のとりくみ
- 当科の課題
- 最後に

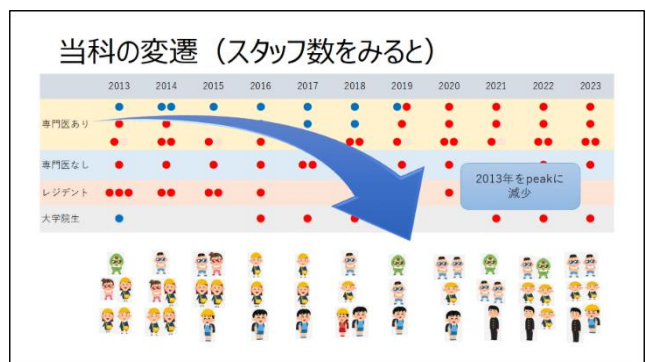
医療職はジョブ型？メンバーシップ型？

	メンバーシップ型雇用	ジョブ型雇用
業務内容	統合的で曖昧	明確で限定的
採用	新卒一括	欠員補充時
求められる能力	統合的な知識・スキル	一つの分野に特化した知識・スキル
労働契約	企業に依存	仕事に依存
キャリア	異動や昇進でキャリアアップ	専門性向上でキャリアアップ
給与	職位で定まる	職務で定まる
教育	企業のサポートをえて学ぶ	自分で学ぶ
流動性	低い	高い

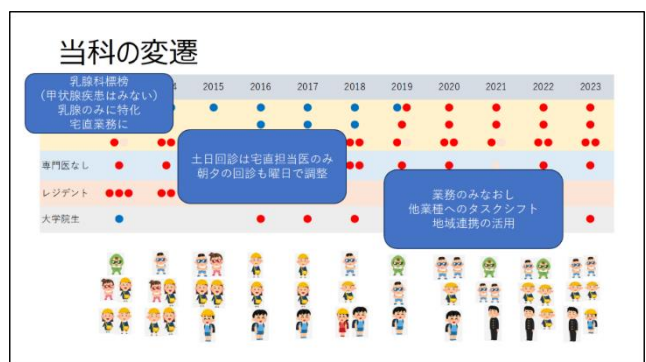
働き方改革は何のためにはじまった？

- 労働人口↓に対する対策
- (残業を厭わない) 健康成人男性のみが総合職を担う方法ではのりきれない

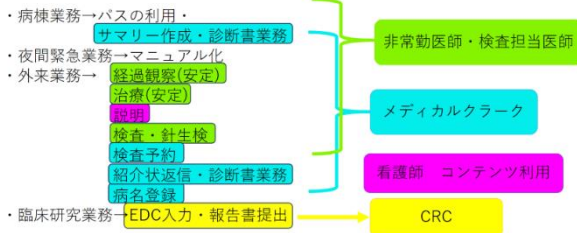
働き方改革



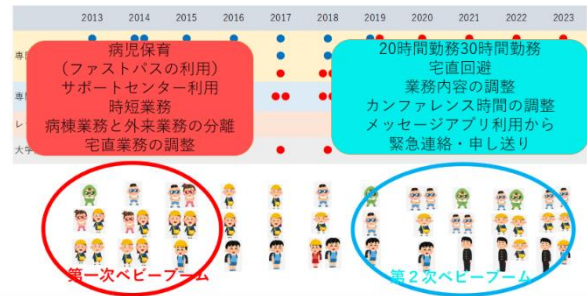
人が減ると⇒一人の業務量は↑↑↑



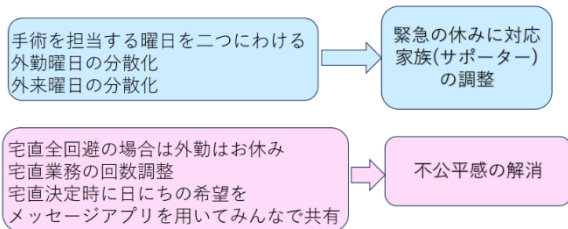
業務形態をみなおし他業種に依頼



当科の変遷（スタッフの子供の数から）



業務調整で工夫していること



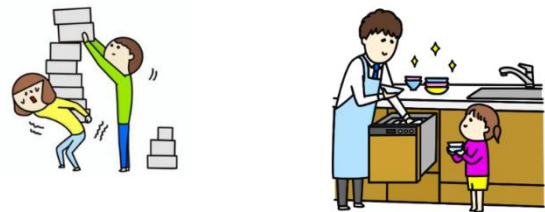
ジョブ型(働き方改革優先)で
医者(職人)は育つのだろうか？



「経験する」行為には時間が必要
働き方改革優先では
教える(教わる)時間が確保できない

今後の課題：若手の育成
小学校の壁を乗り越える
世代交代

家族の理解・協力も必要です



働き方改革って誰のため？

自分のため

になるよう努力しよう と思います。

「第 17 回 Jichi Joy Café」アンケート結果

■講話の中で参考になったことや印象に残ったことを教えてください。

- ・乳腺科における取り組み。最後のメッセージ。
- ・乳腺科でこのような変遷があったと初めて知りました。櫻木先生は若い人が少ないことを課題とおっしゃいましたが、私は専門医取得済みの年長の先生方の層に女性が増えていることを心強く感じました。
- ・キャリアパス、育成(教育)、ライフワークバランスなど実際の女性医師のお話しが伺えて新鮮でした。勉強になりました。
- ・乳腺科の実際の取り組みをお話しいただき、大変参考になりました。女性医師だけの課題ではなく、一緒に職場をつくっていく男性医師にも参考になる事例と思いました。
- ・櫻木先生のスライドで、時代の変遷とともに対応されてきた工夫を図にまとめられていてとてもわかりやすかった
- ・櫻木先生のご講演で、ご自身のご経験を活かした医局内の調整や、子育てしている人たちの声が大きい職場であるため多方面に配慮されているというのが印象的でした。
- ・メッセージアプリを用いた業務連絡により、組織内での情報共有ができていること。
- ・タスクシフトやチームの組み方が参考になりました。乳腺科の女性の先生方が働きやすくなるように環境を整えていることがよくわかりました。働き方改革が自分のためになるように、前向きにとらえていくことは大切だと同感しました。
- ・働き方改革
- ・誰のための体制か
- ・お子さんの年齢に合わせて仕事の内容を調整するといった取り組みが参考になりました。
- ・同僚や部下との接し方、人材育成の視点

■フリーディスカッションで参考になったことや印象に残ったことを教えてください。

- ・子育てに苦勞されている女性医師の存在。
- ・お仕事上でしか存じ上げない先生方のいろいろな事情を垣間見ることができました。
- ・さまざまな環境でそれぞれ試行錯誤しながら取り組んでいること、さまざまな立場の人たちから意見が聞けたこと。参考になりました。
- ・仕事と家事の両立の困難に直面されている方が院内の様々な科に実際におられることに驚きました。課題も様々でお手伝いできることもいろいろあるはず、と思いました。
- ・いろいろな状況に置かれている人がそれぞれの場所で悩みながら対応されているが、皆さん「迷惑をおかけしているのですが…」と言っていたので、今後は皆がそれを「迷惑」と思わない制度が作れたらいいなと思った
- ・様々な立場の方が参加されていて、それぞれのお話が大変参考になりました。
- ・多くの方が当事者として、キャリア継続に不安をもっていることが分かった。また多くの部署で産休・育休・急な欠勤などでの対応に苦慮している現状を知り、共有することができた。
- ・たくさんの方に発言して頂きましてありがとうございました。周りの人はどのようにやりくりしているのだろうと思うことがありますが、それぞれの環境や仕事の内容が違い、いろいろな視点の意見を聞けて参考になりました。
- ・感想が多かった。
- ・私はこれから出産が控えており、その後の働き方にどのような方法があるのか勉強したくて参加しましたが、診療科によってさまざまな事情があり、いろんな先生方のご意見がとても参考になりました。
- ・各人が置かれている環境や抱えている悩みは様々であるため、まずは関係者みんなで話し合うことが重要と感じた。

■櫻木先生へのメッセージがございましたらお書きください。

- ・ありがとうございました。
- ・乳腺科の先生がたはいつもきびきびとコンサルトを受けてくださるので、女性ばかりの少ないスタッフで回しておられることに驚きました。今後もいろいろお仕事上でご指導よろしく願い申し上げます。
- ・お疲れさまでした。大変貴重なお話をいただけて、大変勉強になりました。仕事だけでなく、家庭でもご活躍され、まさしく24時間、働いているんですね。これからもタスクシェアしながら、いい環境で、いい仕事ができるようにお互いに頑張りましょう！これからも何卒ご指導のほどよろしく願いいたします。
- ・大変有用なご講話をどうもありがとうございました。
- ・いつもありがとうございます。大変参考になるお話をありがとうございました。
- ・力強く子育てもお仕事も取り組まれる先生の存在がとても励みになります。貴重なお話をありがとうございました。
- ・いつも大変お世話になっております。この度は貴重なご講演をありがとうございました。乳腺科の状況にとどまらず、先生のキャリアの重ね方も教えていただき大変勉強になりました。今後とも宜しく願いいたします。
- ・お忙しい中、ご講演頂きましてありがとうございました。今後も乳腺科の新しい取り組みがありましたら、是非、紹介して頂きたいと思います。
- ・貴重なご講演をありがとうございました
- ・望んでかは分かりませんが出産をきっかけに専門分野を変更されたお話をもっと聞きたかった。
- ・貴重なご講演をありがとうございました。私も自分の専門性からはなるべく自治を辞めたくないのので、家庭と仕事をうまく両立させられるよういろいろ工夫していきたいと思いました。またいろいろと教えてください。
- ・先生も試行錯誤しながら今日までやってこられたのだと感じました。これからも頑張ってください。

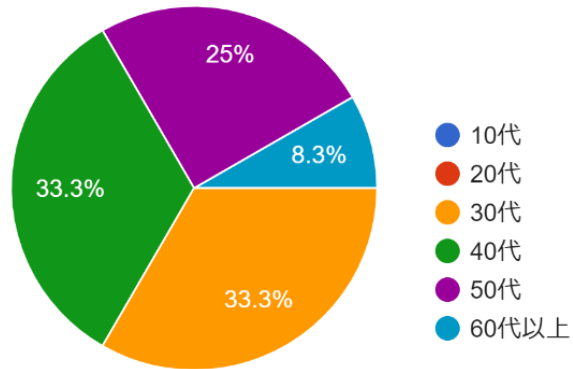
■参加者データ

性別	人数
男性	5
女性	16
合計	21

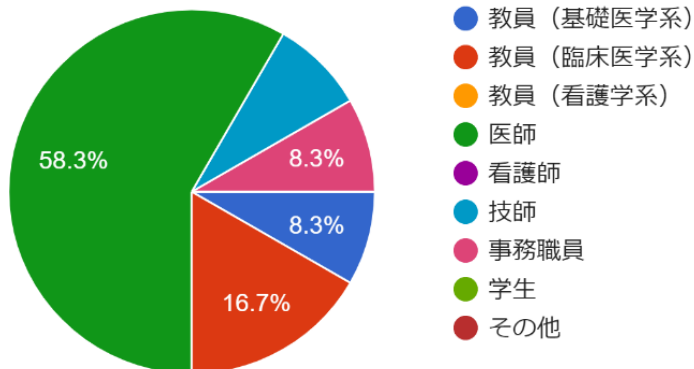
職種	人数
教職員	18
看護師	1
大学院学生	2
合計	21

■参加者アンケート回答者データ（回答数：12名）

Q1.ご自身の年代を選択してください。



Q2.職種を教えてください。



Q3.イベントの内容についてあてはまるものをご選択ください。

